

# 焼津市スマートシティ推進検討会

---

日時：令和4年9月28日（水）午後3時30分～  
会場：焼津市役所4階応接室

## 次第

# 焼津市スマートシティ推進検討会

1. 開会
2. 議事
  - ① 議題 1 焼津市スマートシティ推進検討会規約（案）について
  - ② 議題 2 令和4年度スマートシティ推進事業の概要について
  - ③ 議題 3 事業実施体制について
3. 講演「スマートシティを通じたWell-being 実現に向けた取組み」  
講師：浪江俊信 様（西日本電信電話株式会社）
- 4 意見交換

議事

<議題 1>

# 焼津市スマートシティ推進検討会規約（案） について

（1） 焼津市スマートシティ推進検討会規約（案）

「別紙 1」参照

## 議事

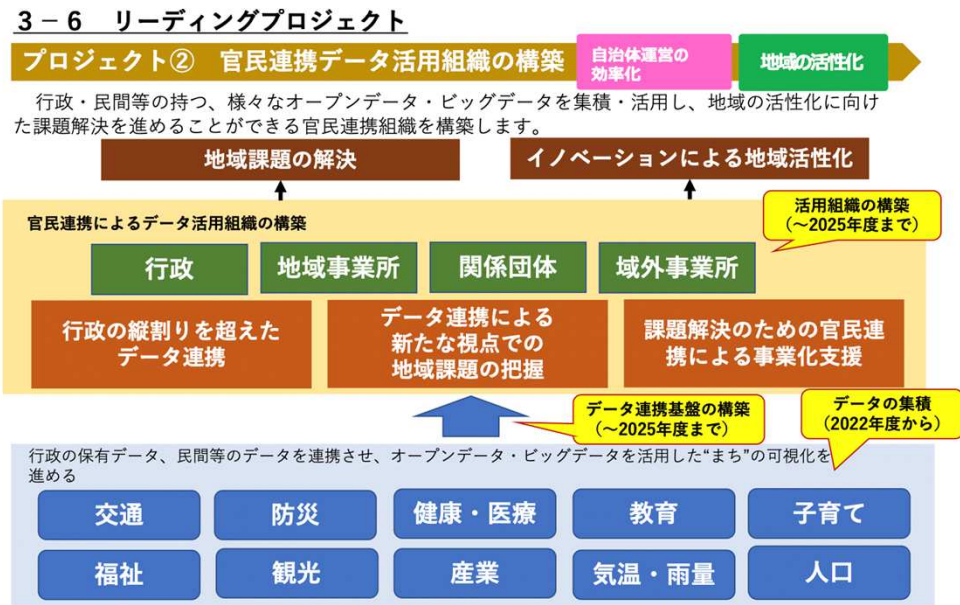
## ＜議題 2＞

## 焼津市スマートシティ推進事業について

## 1. 事業の全体像

## (1) 焼津市スマートシティ推進事業とは？

- ◆ 本市は、第6次焼津市総合計画第2期基本計画の施策横断的な基本視点である「DXの推進」に向け、令和3年11月に「焼津市DX推進計画」を策定。
- ◆ 焼津市スマートシティ推進事業は、DX推進計画で掲げたリーディングプロジェクト2「官民連携データ活用組織の構築」の具体的な取り組み。防災、産業・観光をはじめとする各種データの活用による、地域課題の解決およびイノベーションによる地域活性化を目指す。



▲焼津市DX推進計画リーディングプロジェクト2「官民連携データ活用組織の構築」イメージ図

焼津市スマートシティ推進事業は「官民連携データ活用組織の構築」の具体的な取り組み。官民が持つ様々なデータを集積・活用し、地域の課題解決を図っていくもの。

## 議事

## ＜議題 2＞

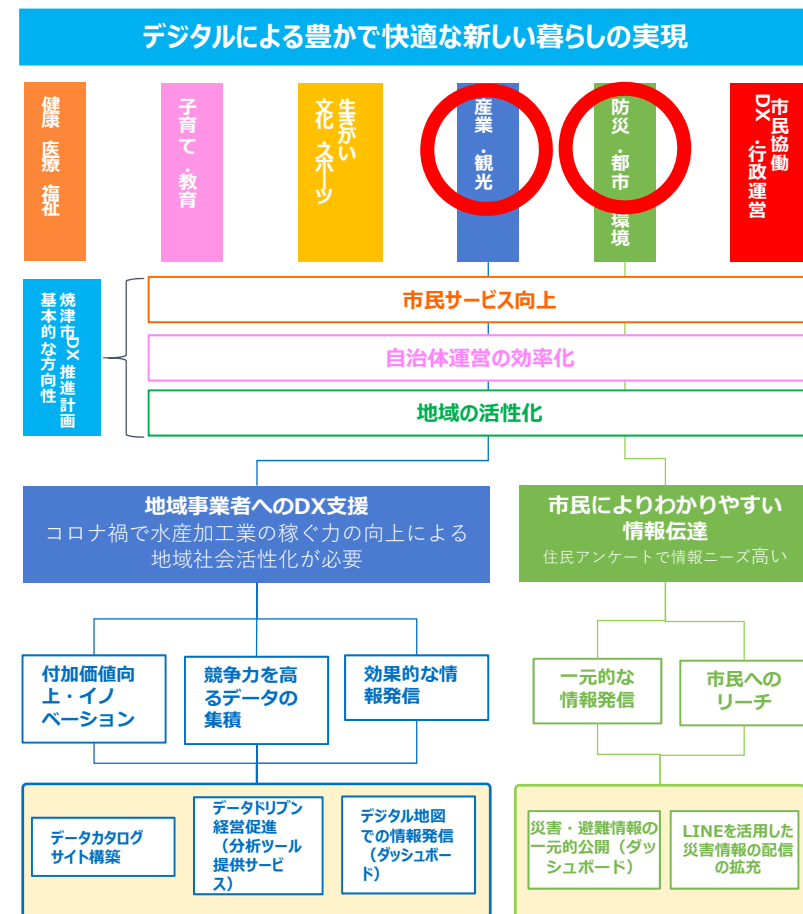
## 焼津市スマートシティ推進事業について

## 1. 事業の全体像

## (2) 令和4年に取り組む分野は？

- ◆ 焼津市スマートシティ推進事業は、第6次総合計画に基づき、6つの政策体系において、デジタルによる豊かで快適な新しい暮らしの実現（Well-being向上）を目指す。
- ◆ 令和4年度に優先的に取り組むものとして、地域活性化や税収等を下支えする、本市の基幹産業「水産加工業」を中心とした「産業・観光」と、DX推進計画策定において実施した住民アンケートで、市民の情報ニーズが高かった「防災」とする。

令和4年度は「産業・観光分野」と、「防災分野」のデータ利活用に取り組む。



議事

<議題 2>

# 焼津市スマートシティ推進事業について

## 2. 今年度事業の内容

### (1) 今年度事業（委託事業）の全体像

#### 1 データ連携基盤の構築

「つながる」「ながれる」「つづけられる」仕組みづくり

- デジタル庁推奨の仕様でシステム構築。
- 利用するデータも国のルールに基づき整理。
- 分野・地域間のデータ連携が可能に。

#### 2 地域活性化サービス

「さかなのまち焼津」ICTを活用した地域活性化

- 集積した地域活性に関するデータを活用し、地域事業者や市民に観光・産業活性化に向けた情報を提供。

#### 3 防災情報発信サービス

「逃げ遅れゼロ」わかりやすい災害情報発信

- 集積した防災データを活用し、市民や職員が「速やかに」「わかりやすく」情報を得ることができるように防災情報を発信。



#### 4 匿名加工処理の実施

「安心してデータを利用できる仕組みづくり」

- ふるさと納税利用者の個人情報適切に扱うため、匿名加工処理を行う仕組みを実装。
- 匿名加工情報の活用に向けた課題整理を行う。

## 議事

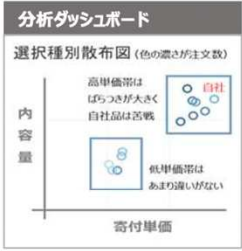








## ＜議題 2＞

## 焼津市スマートシティ推進事業について

## 2. 今年度事業の内容

## (2) 地域活性化サービス～「さかなのまち焼津」ICTを活用した地域活性化～

- ・ **分析ツール・ダッシュボード**：市のふるさと納税お礼品発注データ等を収集し、匿名加工化等を行った上で、分析ツールで可視化。
- ・ **地図ダッシュボード**：小売販売店、加工業者、生産者、観光スポット等の情報を整理、連携。地図上で表示。
- ・ **ふるさと納税のお礼品データの整理**：様々な分析が行えるようにするため、データを整理し「タグ情報」を付与。
- ・ **データカタログサイト**：収集した統計データを機械判読可能な状態で公開。

分析ツール・ダッシュボード		地図ダッシュボード													
<p><b>ふるさと納税協力事業者、地域事業者</b></p> <p>協力事業者全体及び自身の売れ筋や傾向の詳細から受注変動要因を把握</p> <p><b>分析ダッシュボード</b></p> <p>選択種別散布図(色の濃さが注文数)</p>  <p>高単価商品は注文数が大きく自社は高単価 低単価商品は注文数が多いが自社は低単価</p> <p>内容量</p> <p>寄付単価</p> <p><b>ダッシュボード例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の商品ポジションを把握し、受注に影響を与える要因を分析</li> </ul> <p>参考) 付与するタグ 返礼品内容や特徴をタグ付け Ex.魚種、内容量、食材の旬、POSカテゴリなど</p> <p>⇒新たな自社商品の開発や商品改良等に活用し事業者個々で売り上げ向上を図る</p>	<p><b>焼津市職員</b></p> <p>協力事業者全体の売れ筋や傾向を時系列等で確認し伸びしろの詳細を把握</p> <p><b>分析ダッシュボード</b></p>  <p>まぐろ類別注文状況</p> <p>12月</p> <p><b>ダッシュボード例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時系列で注文傾向を分析し、直近の注文伸び率を魚種や加工品毎に抽出。伸び率の高い要素を開拓</li> </ul> <p>参考) 付与するタグ 比較・抽出する条件情報タグ Ex.魚種詳細、水揚げ・製造地、取扱開始時期など</p> <p>⇒焼津市内の販売事業者の増加に向けた地域振興策を立案</p>	<p><b>地域住民、ふるさと納税寄付者</b></p> <p>ふるさと納税返礼品が市内のどこで買えるかなど、知りたい情報を表示</p> <p><b>地図ダッシュボード</b></p>  <p><b>ダッシュボード例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・返礼品を選択し、市内のどこで購買・飲食できるか表示</li> <li>・貴市観光マップ掲載の店舗をカテゴリ別に表示</li> </ul> <p>参考) 付与するタグ 返礼品のグルーピングする情報 Ex.購買・飲食フラグ、返礼品種別、買える緯度経度など</p> <p>⇒焼津市への関心を観光客誘引や販売増加につなげる</p>	<p><b>データカタログサイト</b></p> <p>カタログサイトでAPI仕様(国の推奨するNGSiv2の形式)を掲載。公開したAPIを用いて、市内外の民間事業者がふるさと納税データを活用することで、新たな事業創出や投資促進を図る</p> 												
<p><b>ふるさと納税データに対するタグ情報の付与</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イメージ</th> <th>分析軸(例)</th> <th>カテゴリ</th> <th>タグ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>リアルな売れ筋と返礼品の注文状況を、統一的なタグで比較したい</td> <td>魚種</td> <td>めばち、きはだ、びんなが...</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特設サイトで注文推移を紹介しながら、水産加工品の魅力(栄養素など)を伝えたい</td> <td>栄養素期待効能</td> <td>タンパク質 抗酸化作用</td> </tr> </tbody> </table> <p>ふるさと納税の詳細な分析のために、タグ情報を付与。タグの内容は委託業者のデータサイエンティストが、適切なタグを検討・設定</p>				イメージ	分析軸(例)	カテゴリ	タグ		リアルな売れ筋と返礼品の注文状況を、統一的なタグで比較したい	魚種	めばち、きはだ、びんなが...		特設サイトで注文推移を紹介しながら、水産加工品の魅力(栄養素など)を伝えたい	栄養素期待効能	タンパク質 抗酸化作用
イメージ	分析軸(例)	カテゴリ	タグ												
	リアルな売れ筋と返礼品の注文状況を、統一的なタグで比較したい	魚種	めばち、きはだ、びんなが...												
	特設サイトで注文推移を紹介しながら、水産加工品の魅力(栄養素など)を伝えたい	栄養素期待効能	タンパク質 抗酸化作用												



## 議事

## 〈議題2〉

## 焼津市スマートシティ推進事業について

## 2. 今年度事業の内容

## (3) 防災情報発信サービス～「逃げ遅れゼロ」わかりやすい災害情報発信～

- **地図ダッシュボード**：ハザードマップ等の防災に関する情報を公開。災害時は、避難所の定員数や現在の避難人数を速やかに表示。
- **データカタログサイト**：収集した防災に関するデータを機械判読可能な状態で公開。
- **分析ツール**：蓄積した災害データを基に、分析ダッシュボードで視覚化。将来的に、より効果的な防災施策の企画立案を目指す。

## 地図ダッシュボード

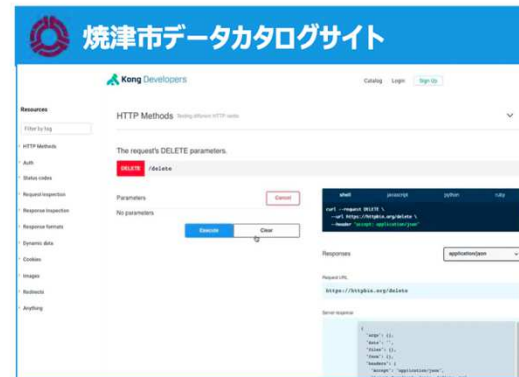
地図上に、土砂災害地域や避難所を表示するデジタルハザードマップを作成。住民がリアルな避難情報を活用することで自らが災害情報を踏まえ判断することを促進



避難所の開設状況や避難者数など、避難に必要な情報を表示することで住民の避難判断に向けたコンテンツの充実を進める

## データカタログサイト

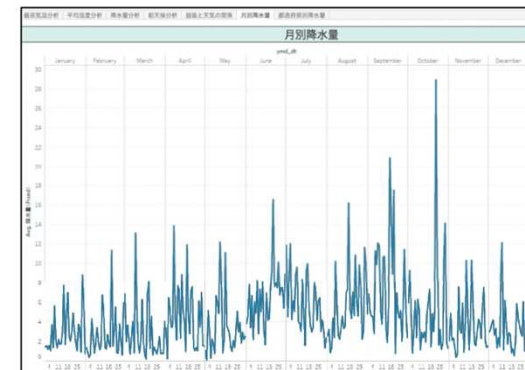
防災関連データを、それぞれのデータ形式に合わせて定期的に取得し、データ連携基盤へデータ蓄積。蓄積したデータは、公開APIにて提供しデータカタログサイトへAPI仕様を提供する



カタログサイトでAPIを公開することによって、民間事業者の防災サービス開発を促進する  
国の推奨するNGSIv2の形式で公開することによって、標準化された形式で利活用が促進される

## 分析ダッシュボード

蓄積した防災関連のデータを分析ダッシュボードにて視える化することで、災害情報の振り返りや次の災害に備えた対応を取ることができる



データ蓄積を継続していくことで時系列データから様々な広い視点で分析することが可能になる



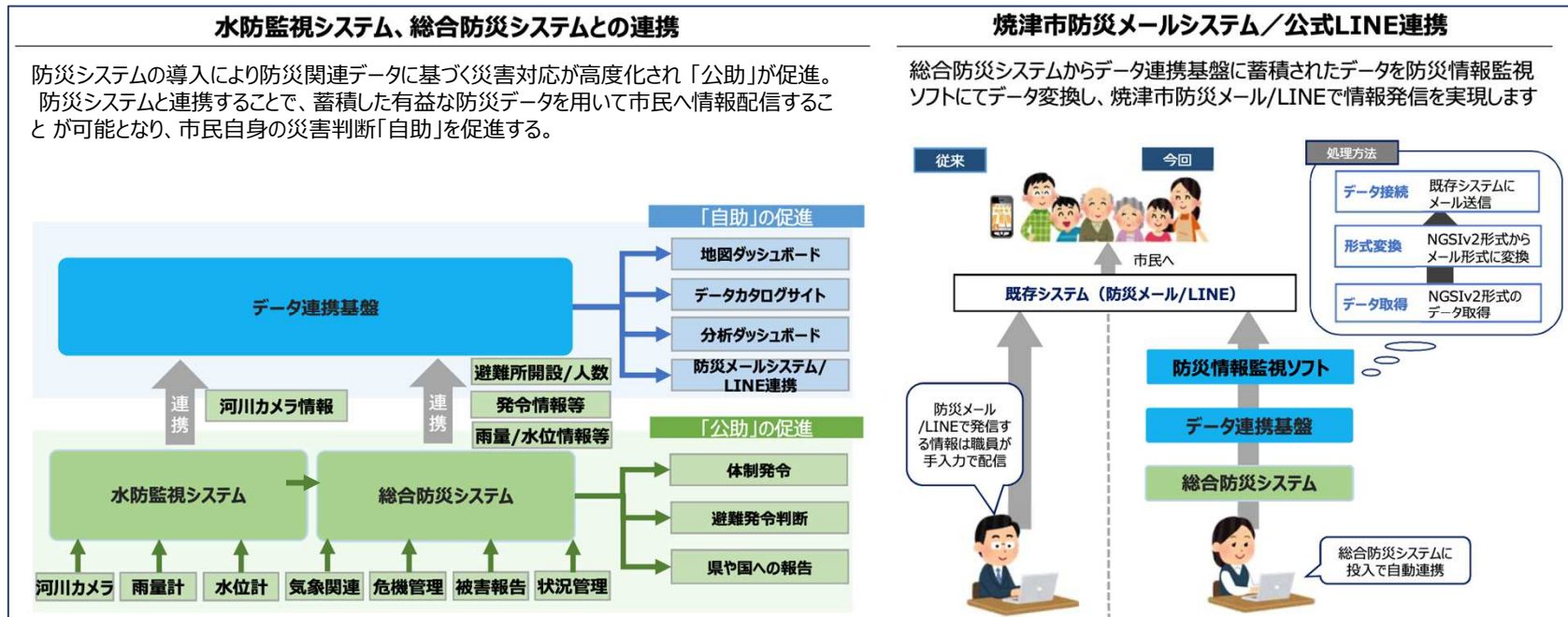
議事

<議題 2>

# 焼津市スマートシティ推進事業について

## 2. 今年度事業の内容

- **データ連携基盤と防災システムの連携**：防災システムで収集したデータをデータ連携基盤で蓄積。官民で利用可能な情報として公開。
- **データ連携基盤と連携したメール配信サービス**：防災情報監視ソフトを開発。市防災メール登録者や市LINE登録者、データ連携基盤に自動配信することが可能になり、より迅速な災害情報の発信が可能に。





## 議事

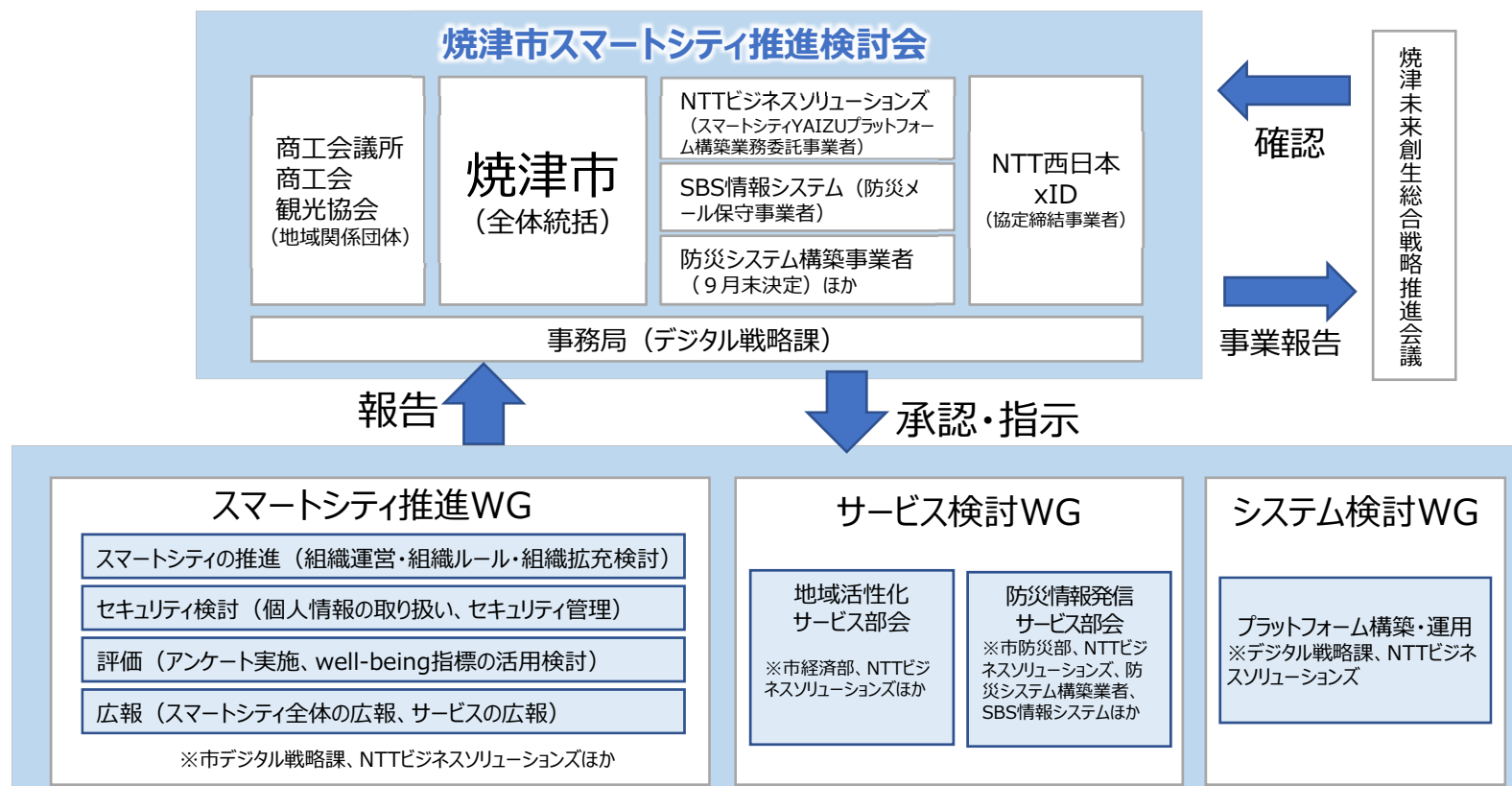
## ＜議題3＞

## 事業実施体制について

## 1. 事業実施体制（案）

## (1) 「焼津市スマートシティ推進検討会」及び「ワーキンググループ」の設置

- 地域内外の関係者と連携して事業を実効的、効果的に推進するための体制として「焼津市スマートシティ推進検討会」を設立。
- 庁内の関係課や関係事業者を含んだ「ワーキンググループ」を設置し、事業を進捗させる。



講演

# スマートシティを通じた Well-being 実現に向けた取り組み

講師

**浪江俊信 様**

西日本電信電話株式会社 ビジネス営業本部  
エンタープライズビジネス営業部 地域プロデュース担当  
スマートシティ推進グループ担当課長



**意見交換**

**memo**